

第48回 質疑応答

Q1： フォワードルッキング引当金など、新たな引当手法の導入予定について

A1： 現時点では、フォワードルッキング引当金などの新しい引当手法の導入予定はない。長野県は観光立県でもあり、店舗を構え対面でサービスをご提供されている事業者さまが多い。世界規模で対面による接点が減少している現況下では、営業キャッシュフローが減少している弊社お取引先も多い。また、営業キャッシュフローの回復見通しについても、相応の時間が必要になるものと想定している。

これらを踏まえ、弊社ではお取引先に対し、営業キャッシュフローに合わせた返済方法へと変更されることをご提案し、ご相談にお応えしていく活動を進めている。

これまでコロナ禍の与信コストは、事業者さまが外部環境の影響を受けた結果として変動してきたが、これからは従来以上に、ご相談を通じ返済条件を変更した債権の影響度が大きくなることも想定される。

Q2： 新設子会社「八十二アセットマネジメント株式会社」の運用規模感および八十二銀行が運用を委託する資金・資産について

A2： 関係当局から登録認可をいただくことが前提となるが、新設子会社には事業開始後、弊社の市場運用部門の一部を担うような事業内容を想定している。詳細はまだ確定していないが、新設子会社が新たに組成する投資信託を弊社が購入することが主な取引となる予定。当面の規模感については、1千億円程度を想定しているが、達成までの時間軸は定まっていない。

Q3： 共同版システムを運営するグループ同士が連携するケースも見受けられるが、「じゅうだん会」としての方針・考えについて

A3： グループ同士の連携については、情報収集をしている状況。

じゅうだん会の現況としては、システム開発面だけでなくシステム以外の業務も含めて、情報交換や検討に取り組んでいる。参加各行からは弊社に出向者を派遣していただいております、活発に活動している。

ホストシステムについては、今のところ大規模な変更予定はないが、軽量化には取り組んでいきたい。弊社の状況だけで申し上げれば、拡大させていく非対面サービスやAPI接続などにおいて、分散系システムを強化していく必要性を認識している。

以上